

研究課題番号	4-1904
研究課題名	外来アリ類をモデルとした侵略的外来生物管理体系の構築
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	琉球大学
研究代表者名	辻 瑞樹

1. 委員の指摘及び提言概要

研究目標に対しては、それぞれ成果が得られていると評価する。外来アリを対象とした LAMP キットの開発、タンパクと糖分を別個に与えることでベイト忌避を防げるという新しい知見の発見、ハヤトゲフシアリへの緊急防除など、環境行政にも貢献する具体的な成果が得られた。外来アリの防除に関しては、一定の対策手法が確立されたのではないかと感じた。研究レベルでは、より斬新な手法の開発が望まれる。外来生物の侵入という問題は、今後もエンドレスに起こってくることが予想されるため、個々の生物に対する対処法を超えて、根本的な解決策に向けた提言を発信して欲しい。社会との対話、成果の発表などは十分なされている。

2. 採点結果

評価ランク：A